

ぶどう特報No.8



No.8 2020.7.2
 JA中野市営農センター
 JA中野市ぶどう部会

連続した降雨により、べと病や晩腐病、黒とう病の発生が心配されます。定期的な防除に努めてください。
 また、今後連続した降雨が予想される場合は前倒しで防除をしてください。

【発生病害虫】クビアカスカシバ(大発生!!注意!)・ハダニ・カメムシ・べと病

袋かけについて【晴れ間を見計らい、2回目のジベ処理終了後(有核は摘粒後)速やかに実施する】

- ・房が濡れている時は実施しない・日当りの良い所は日焼け防止のため並行して傘かけも実施する
- ・シャインマスカットの果実袋は緑色(遅出し用)または白(早出し用)を使用する
- ・袋かけ前後は防除間隔が開かないように注意する。(基本は10日間隔で防除を行う)

【特別散布】袋かけ未実施園【べと病、黒とう病、晩腐病、灰色かび病、スリップス類等】

散布時期	前回から10日(落花30日後)	南部:7/13~ 北部:7/15~(巨峰)	
散布品種	全品種(袋かけ未実施園) 又は 冷蔵シャインマスカット袋かけ直前防除)		
散布薬剤	水	100 ℓ	散布日 月 日
	ライメイフロアブル (14日前、3回)	25 ml	
	オンリーワンフロアブル (前日、3回)	50 ml	
	アーデントフロアブル (前日、4回)	50 ml	
散布量	400ℓ/10a		
注意点	※冷蔵シャインマスカット園地は、灰色かび病予防のため袋かけ前にこの防除をたっぷりを散布し、袋かけを速やかに行う。 ※袋かけ実施園地は、袋かけ直後の防除に切り替えても良い。 ① 散布の際は薬剤が房にかかる果粉溶脱するので留意する。 ② ハダニ類発生園は袋かけ直後のカネマイトフロアブル1,000倍(14日前、1回)の散布を加用する。(使用回数1回を厳守する。)		

第11回【ぶどう定期防除】(べと病、スリップス類・ダニ類、コガネムシ防除)

散布時期	前回から10日以内(袋かけ直後)	南部・北部:袋かけ終了後	
散布品種	全品種(袋かけ実施園は前回から10日後の防除としてこの防除を実施する)		
散布薬剤	水	100 ℓ	散布日 月 日
	ムッシュボルドーDF	— 200 g	
	アルバリン顆粒水溶剤 (前日、3回)	50 g	
	コロマイト水和剤(シャインのみ) (7日前、1回)	50 g	
	KKステッカー(展着剤)	— 33 ml	
散布量	400ℓ/10a		
注意点	※KKステッカーは農薬を希釈した最後に加用する。加用の際はよく攪拌しながら加用する。 ※りんご等で使用するコロマイト乳剤はぶどうの登録がないので、間違えて散布しないように注意する ① KKステッカーに代えてアピオン-E1,000倍を使用しても良い。(混用順は1番最初) ② クビアカスカシバ発生園はパダンSG水溶剤1,500倍(21日前、5回)を加用散布する。 ③ ムッシュボルドーは高温、散布後の降雨で薬害が発生するので注意する。 ④ べと病発生園は散布薬剤に限られるため、技術員にご相談ください。		

・未熟果粒混入症(石ぶどう)対策について
 昨年発生した石ぶどう対策として、以下のことに注意して作業を進めてください。

- ① 枝を繁茂させない。特に太い副梢はこまめに摘芯するか元から落とす。
- ② 一度に強い摘芯を行わない。(特に強樹勢樹では新梢管理方法に注意する)